青果物輸出産地セミナー＆交流会

世界に通用する
みかんの輸出産地づくり

株式会社ネイバーフッド
田中 伸佳

自己紹介

1947年にみかん栽培を開始して、3代目として後継。2019年にネイバーフッドを設立し、台湾等アジア向け輸出に注力

株式会社ネイバーフッド

代表：田中 伸佳（3代目）

輸出品目：みかん・みかんジュース

略歴：

- 就農以前は自衛隊に勤務
- 現在就農12年目で、台湾・香港等のアジアを中心に年間90トンほど輸出
- 輸出の難しい台湾輸出に注力して、輸出経験値を積み、現地取引先と関係を構築した

©NEIGHBORHOOD 2023. All Rights Reserved.

起業や輸出へ挑戦するきっかけ・課題

就農して見えてきた課題はむしろチャンスであると捉え、起業

▼果樹農業の課題

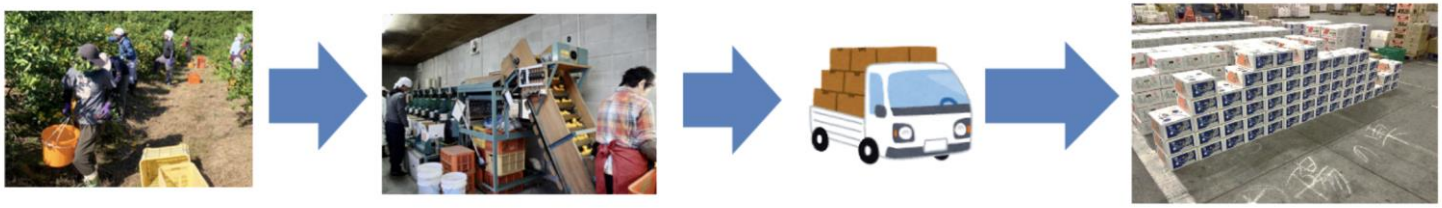
1. 持続可能性、収益が低い。 また未収期間が長く、新しい果樹生産者が生まれづらい

2. 農家それぞれが設備投資をして商品を販売するが、地元で販売すると価格が低く、投資に対して割に合わない

3. 農家自身も輸出先や店頭で販売される実感を得たい。

4. 毎日の仕事に追われ、現状を打開する目標（光）が見えない

日南共同選果場ができる前（2020年まで）



8:00 収穫

15:30 家庭選別

18:30 毎日トラックでみかんを運搬し、
宮崎市の青果市場へ(往復120キロ)。
22:00 帰宅後に翌日の段取り。睡眠時間が削られる。

©NEIGHBORHOOD 2023. All Rights Reserved.

栽培面積・輸出の拡大経緯

法人化後の栽培面積・輸出増加を通じて雇用も拡大中

	2020	2023	2025（目標）
栽培面積	7ha	12ha	20ha
輸出量	30トン	90トン	120トン
雇用（家族以外）	通年雇用2名 アルバイト8名	通年雇用8名 短期アルバイト15名	通年雇用15名 短期アルバイト20名
販路	（国内）JA＋地域の市場 ※利益率は低い状況 台湾テスト輸出スタート	台湾・香港・マカオ・ シンガポール・マレーシアへ 輸出・ECも開拓 国内も九州を除く全国出荷	栽培面積を増加し、 更なる輸出拡大を 目指す！

©NEIGHBORHOOD 2023. All Rights Reserved.

おいしさの秘密

栽培方法の拘りだけでなく、品質保持のための設備を整え、輸出先国の現地の人に食べてもらうまでのおいしさ維持を可能に

栽培方法

自然の力を生かした栽培

残留農薬検査をクリアした土壌

日照時間と水はけの良い立地

x

品質保持

糖度センサー

光殺菌装置

専用冷蔵庫

©NEIGHBORHOOD 2023. All Rights Reserved.

産地単位での輸出取組

他の生産者・メーカーと連携した輸出・加工品開発を推進

輸出産地形成

- 他の生産者・産地のかんきつ類を収集し、共同輸出することでロット拡大・輸送費低減
- 産地全体で売り先を増やすことで、輸出に対するモチベーションを共有・向上
- 連携農家17件 法人2件（宮崎・熊本・福岡・長崎）

加工品開発

- 近隣地域を中心とした企業・団体とのコラボレーションによって2次産品開発に成功
- 賞味期限が長く、輸出の増加に大きな助けとなる
- 規格外品を活用できる「まる搾りみかんジュース」は国内外で高い評価を獲得

©NEIGHBORHOOD 2023. All Rights Reserved.

輸出取組から得た経験

台湾向け輸出の強みをさらに活かした取り組み

1. 残留農薬基準が厳しい台湾との取引は、コンテナ単位の取引を基本としている。全量廃棄が隣り合わせの取引きとなる。

   - 海外輸出は高い金額で取引されているイメージの方が多いが、実際には韓国産やオーストラリア産、中国産と競争しなければならないため苦労も多い。

2. みかんを、新鮮な状態で痛みなく着荷させる。とにかくロス率を下げること

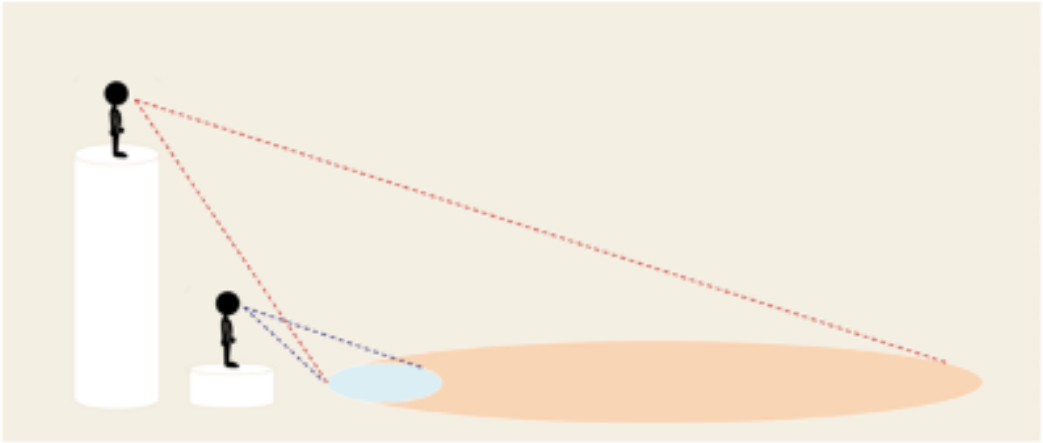
   - みかんが弊社から手を離れ海外へ着荷するまでには、さまざまな人の手を介するため、起こり得る状況を想定した対策が必要。

©NEIGHBORHOOD 2023. All Rights Reserved.

更なる輸出拡大に向けて

農業経営人材の育成・輸出用に品種育成・産地づくりが鍵

- 輸出を共同で行う中で、共に学び、地域において視座の高い農業経営・輸出向け生産ができる生産者仲間を増やしていきたい。



- 品種毎の収穫時期に応じたリレー出荷が必要であり、 農水省：GFPを通じて他産地の輸出生産者との産地間連携を深めていきたい

©NEIGHBORHOOD 2023. All Rights Reserved.

今後の取組

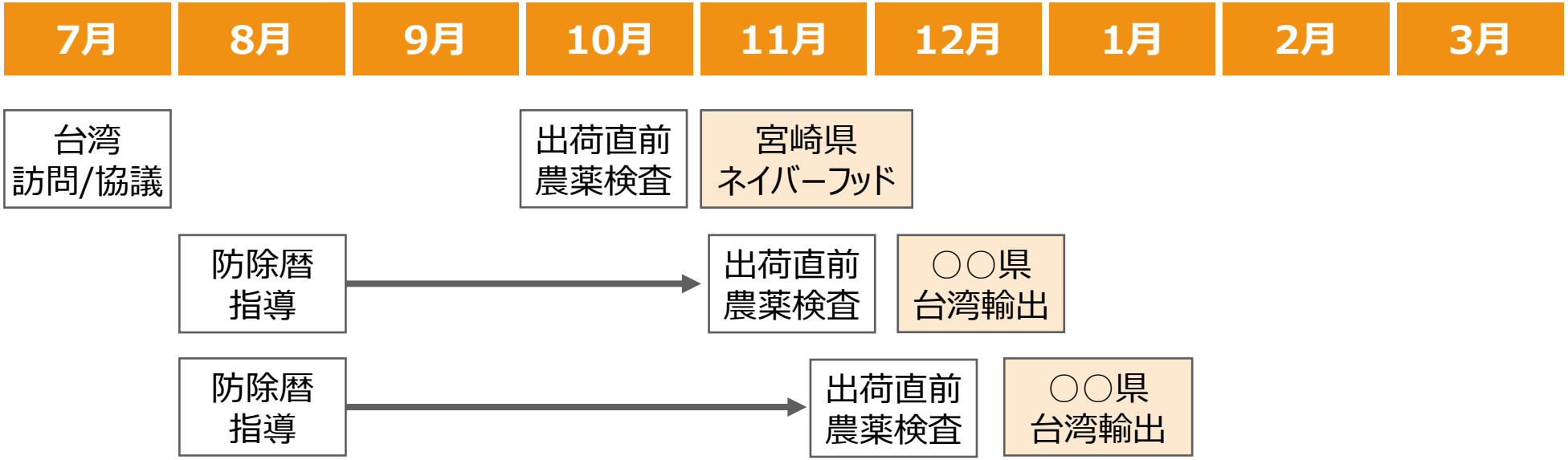
ハードルが高い台湾を対象とした柑橘の輸出産地リレーの実現

- 台湾向け栽培の防除暦共有
- 輸出前に、台湾通関と同レベルの残留農薬検査実施

©NEIGHBORHOOD 2023. All Rights Reserved.

柑橘の輸出産地リレーのイメージ

2023年度に台湾輸出に向けたテストラン（少量輸出）、結果を受けて2024年度からの本格輸出を目指す



©NEIGHBORHOOD 2023. All Rights Reserved.